

## 1日目①「災害対応の基礎知識」

2024年4月13日（土）クレオ大阪中央にて

講師：生田英輔さん

（大阪公立大学都市科学・防災研究センター教授）

講義では、防災の一番の目的は人的被害の抑止＝「命を守る」こととそのためすべきこととして脆弱性を低下させ、対策を充実させるといった基本的な理論を学びました。続いて、南海トラフ巨大地震の発生率、能登半島地震における断層の研究の情報、大阪近傍の災害被害や想定、阪神淡路大震災など過去の災害被害での女性の被害も交えて学びました。

さらに、同大学が行っている『コミュニティ防災人材育成プログラム（MUSUBOU）』の紹介を受けました。eラーニングの学習コンテンツや参加者同士の交流の場として、今後私たちもこのプログラムを活用できることを教わりました。



続いて、増田裕子客員研究員兼本講座のチューターの進行によりワークショップを行いました。女性の人的被害についての原因を「からだ」「環境」「行動」に分けて書き出すワークをした後に、グループで共有とそれぞれ出し合った原因に対する対応・対策を考えました。性別による身体的な違いや女性は日常生活において育児や介護など「ケア」に携わる機会が多いことなどが各テーブルで話し合われました。

近年、日本では地震、豪雨などの災害が多発しています、災害への備えは「災害のリスク」を知りその対応や対策を行うことが重要です。データなどのエビデンスを交えながら災害に対する基礎的な知識を学び、女性特有のリスクに対する理解も深めることができました。